

科 目 名		学年	
データベース論Ⅱ : Database Systems II		4B	
教 員 名 内田保雄 : UCHIDA Yasuo			
単位	授業時間	科目区分	
1	90分×15回	必修	
授業形態	学修単位		
演習・後期	—		
授業概要	データベースは、共通に利用できる情報を大量かつ体系的に保存したものである。最近の経営情報システムは、データベースを中心として構築することが通例になっている。データベースの理論と応用を講義するとともに、サンプルデータベースをもとにデータベースソフトを用いて、データベースシステムの作成と活用の演習を行なう。		
到達目標		評価方法	
(1)データベースの概念を説明できる。 (2)基本的なSQL文を記述できる。 (3)簡単なデータベースを作成し利用することができる。		①中間試験(30%)、②期末試験(30%)、③レポート(40%)で評価する。	
学習・教育目標	(D)①	JABEE基準1(1)	
		(d)-(3)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	データベース活用の目的と意義	データベース活用の目的と意義について説明する。
	第2	SQL作成演習(1)	データベース設計
	第3	SQL作成演習(2)	正規化の適用(1)
	第4	SQL作成演習(3)	正規化の適用(2)
	第5	SQL作成演習(4)	SELECT
	第6	SQL作成演習(5)	INSERT
	第7	SQL作成演習(6)	UPDATE
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
	第9	SQL作成演習(7)	DELETE
	第10	データベース構築演習(1)	データベース設計
	第11	データベース構築演習(2)	検索処理
	第12	データベース構築演習(3)	追加処理
	第13	データベース構築演習(4)	追加処理
	第14	データベース構築演習(5)	削除処理
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容	宿題を課す。		
関連科目	情報システム論、データベース論Ⅰ		
教科書	明快入門SQL(林 晴比古・ソフトバンククリエイティブ)		
参考書	IT Text データベース(速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明共著・オーム社)		
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考	Webで補足資料を提示する。		